

## 剣岳早月尾根登山報告

1. 参加者 近藤 孝、大江隆夫、マグヌス（スエーデンから東北大学への留学生 22歳）

### 2. 行程

5月1日（日）

大江自宅から近藤自宅へ大江車で団体装備等を積んで来てもらう。12:30仙台から大宮駅着のマグヌスを大宮駅に迎えに行く。マグヌスと大江は仙台で顔見知りなので、新幹線のホームですぐに出会うことができた。一旦近藤自宅に戻り、装備等を確認して13:05に出発。

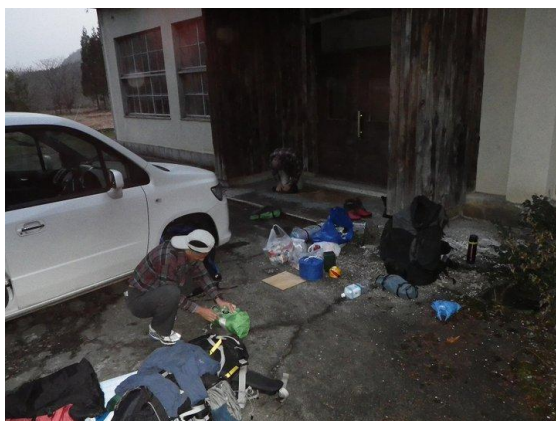
天気は曇りで、このまま保つかだろうか。

桶川北本ICから圏央道に乗り、鶴ヶ島JCTから関越道に乗り、藤岡JCTから上信越道に乗り、

糸魚川から北陸道に入ると凄まじい風雨となる。低気圧が日本海側を通過しているためである。

今夜はテントを張って寝る予定だが、このままではびしょ濡れを覚悟しなければならない。ともかく、滑川ICで下りて途中のコンビニで買い物をして馬場島に向かう。どこか屋根のあるところを探してゆくと廃校となった小学校があり、その玄関にテントを張って泊まった。

高度計で見ると標高230m。夕食（カレー）を作り食べて20:00頃に寝る。



廃校となった小学校の玄関  
（5月2日朝、出発準備、マグヌス撮影）

5月2日（月）

4:00起床 雨はやんでいる。朝食の餅入りラーメンを食べて、団体装備を分けパッキングして車に積み込み5:20出発。馬場島まで車で行くつもりであったが、手前5Kmの地点のゲートが閉まっている。後で聞いたところでは、土砂崩れの心配があったとのこと。ゲートには車が7~8台停まっている。ともかく馬場島まで歩かなければならない。

5:50準備を整え歩きだす。6:40ゾロメキ発電所。7:20馬場島着。



ゾロメキ発電所で休憩



馬場島荘

上市警察の派出所に登山届の変更届を出し、剣岳の状況を聞く。今年は例年になく雪が多く、長次郎谷は雪崩で真砂沢出会までデブリが出ており、通路として使うのは危ないこと、早月尾根上部には富山県警が張ったフィックスがたくさんあるが信用しないように、昨日の風雨でテントのポールが折れたりテントを飛ばされたパーティがある等の話を聞く。馬場島で水を補給して、7:55出発。しばらく雪混じりの夏道を行く。カタクリやイワカガミが咲いている。やがて平坦な松尾平に出て、8:45に標高965m。びっしり雪のついた急な斜面が続き、ぐんぐん高度が上がる。



あえぎつつ登る、大江、近藤  
(マグヌス撮影)



急な雪面を登る大江、マグヌス

11:50に1550mに達し、昼食。白萩川の雪解け水の轟音が聞こえる。天気は曇りだが、視界は悪くない。小窓尾根や大窓も見える。マグヌスの雪上歩行の様子を見ていたが、慣れており十分信頼できる。

60歳過ぎた2人が今日中に早月小屋(伝蔵小屋)に着くのは無理なようだ。適当なテント場がないか探しながらマグヌスと先行する。14:10に1900mに達し、テント場をみつけて雪面を平に均して設営する。時間があるので、マグヌスにいろいろ質問をする。何を専攻しているのか、両親の仕事は何か、スエーデンに帰ったらどうするのか、etc。英語と日本語のチャンポンの会話。夕食を作り、19:00就寝。夜中にトイレに起きると、星が出ている。あすは天気ようである。



猫又山、赤谷山



休憩するマグヌス君





1900mのテント設営場所

5月3日（火）

4：00時起床 雲はあるが、天気はよい。風もない。寒くもない。朝食の餅入りラーメン（これが朝食の定番になった）を食べてテントを撤収し、6：00出発。雪が固く、アイゼンがよく利く。マグヌスのアイゼンワークも全く問題はなく、足に引っ掛けるようなことはしない。登っていると10人位下山してくる人と出会う。昨日の風雨でテントを飛ばされたり、破られた人がいるという話を聞く。7：40早月小屋（標高2200m）着。屋根まで雪に埋まっている。



早月小屋への途中  
頂上が見えてきた



2400mくらいから早月小  
屋と馬場島を望む

ここに荷物をおいて、軽装で頂上アタックすれば往復6時間くらいだから不可能ではない。今年は雪が多いので2600mあたりにテントを張ることができることが分かっている。天気は雲の状況から見て、明日はあまり良くない。どちらにするか、しばし迷うが、できるだけ上にテントを上げること

にして登り始める。40度以上の急な雪面やナイフエッジの雪面が続くが、多くの人が登ってステップができています。また、フィックスザイルも張られている。富山県警が取り付けたものらしい。右側に剣御前、大日岳、奥大日岳が鮮やかに見える。左側には剣北方稜線の猫又山、赤谷山が見える。いずれも登ってみたい山だ。



2400mくらいから剣岳頂上と長次郎の頭



2610mシシの頭の下ここにテントを張る



テント場からの望む、池の谷、三の窓、小窓



大江風雑炊 (材料: キボシダイトン、卵スープ、コンソメスープ、マグロレクの缶詰、アルファ米)・・・味は????

8:35に2500m。シシの頭の下にテントを張ることにして、10:00に2610m着。



これ以上の高さでは頂上しかテントを張る場所はない。

雪面を平に均してテントを設営し終えたのが12:00。剣岳の頂上は見えないが、剣御前や大窓、小窓、三の窓、チンネ、池の谷、長次郎の頭などがはっきり見える。40年前の夏合宿で歩き回った場所をあらためて見入る。13:00にマグヌスがちょっと上に登ってきとも良いかというので、すぐ上の見える所に登るのだらうと思って許可すると、14:00を過ぎても戻らない。

大江と万一の場合の対応を相談をしていると、14:20に戻ってきた。「我々は君のご両親に対して責任がある。勝手な行動はいけない」と英語で強くたしなめる。マグヌスもそれは理解したようであるが、我々のまだるこしい登り方には力を持って余すのであろう。15:00頃からパラパラと雪が降りだす。視界は30mくらいになる。16:00の気象通報を聞いても明日は好天を望めそうにない。夕食までの間、大江がマグヌスに基本的なザイル操作、確保方法を教える。マグヌスはすでにそのくらいは知っているようである。

夕食は大江風雑炊(写真参照)を食べ、早々に寝る。マグヌスはどんな食事でも黙々と食べ、もっと食べろと言えば素直に食べる。まことに頼もしい。

#### 5月4日(水)

4:00時起床 風はないがガスで視界30mくらい。普通なら停滞の日である。

考えた末に、大江とマグヌスの2名で頂上アタックをしてもらう。これより上部は最低2ヶ所はザイルを出して確保が必要な場所がある。その場合、3名では2名に較べてかかる時間が2倍になることや、強風になり無人のテントを飛ばされることを防ぐために一旦テントをたたんで行く必要がある。近藤が若干カゼ気味であることもあってテントキーパーとして残り、2名で頂上アタックをして行動時間を早めることにした。



出発準備をする大江、マグヌス



頂上の大江、マグヌス (マグヌスのカメラ)



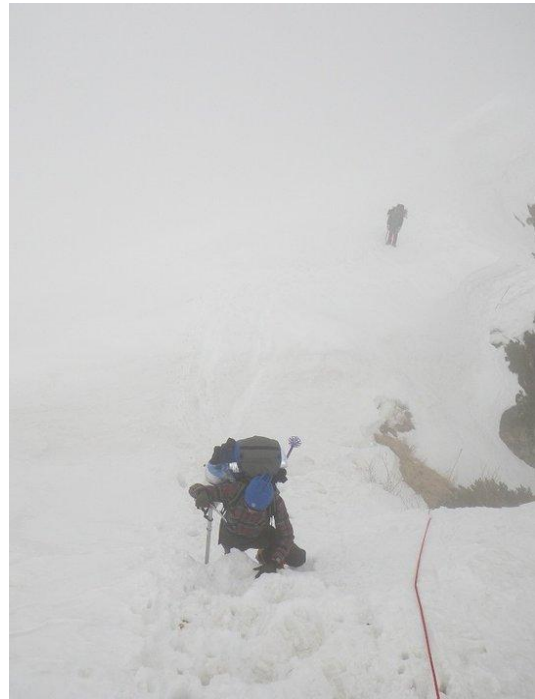
懸垂下降する大江 (マグヌス撮影)

2名は準備をして、6：10出発。近藤はテントで雪を溶かして水を作るがその後やることなし。大江とマグヌスが出発してから、続々と下から登ってきた。全部で14～15名はいたであろう。細かい雪がさらさらと降る。9：00頃、少し晴れ間が出だす。

13：00に2名帰着。頂上で2時間晴れ間を待ったが、ついに良い写真が撮れずに下りてきたとのこと。明日の行動時間を短くするために、下りれるところまで下りにすることにする。



急峻な雪面を下りる大江を見守る  
マグヌス



雪面を登る近藤（マグヌス撮影）



雪のナイフリッジを歩くマグヌス  
上の黒い点は大江



雪に埋まる早月小屋

14：00テントを撤収して出発。15：10早月小屋着。小屋のおやじに、計画では本日は馬場島まで下りることになっているが、富山県警から問い合わせがあったら小屋の下には下りたことを回答してほしいと頼む。小屋の回りにテントを張っていないので、使用料を払ってない。それでは申し訳ないので清掃料の名目で2千円を払い下りにかかる。15：50に2150mの地点にテント設営。夕食は再び大江風雑炊。



5月5日(木)

4:00時起床 夜は結構寒かった。またとない晴天である。平地の方は雲海だ。樹の間から頂上が見える。昨日と入れ替わればと思うが、已むを得ない。マグヌスはもう一度頂上へ行ったそうであったが近藤、大江にもうその元気はない。



下界は雲海



テント場から樹間に頂上を望む



テント撤収作業をする大江、近藤。後方は大日岳、奥大日岳 (マグヌス撮影)

テントを撤収して、6:10下りにかかる。雪が硬く、アイゼンがよく利く。7:45松尾平を見下ろす地点で大休止する。尾根通しに行くより、急な雪面だが、松尾平に直接下りた方が楽なようだ。まだ、気温がそんなに上がっていないので雪面が雪崩れることはあるまい。下りにかかったとたん、大江が雪面から顔をだしている木の枝にアイゼンをひっかけて前のめりに転倒し、雪面を滑り落ちる。ザックにつけたスコップで体を持ち上げられ体が回転した。

このまま回転していくと危ない、急いで助けに行こうとしていると、斜面の中ほどでようやく停止した。100mくらい滑ったが、それにしても下がガレ場でなくてよかった。額をピッケルで切ったようで出血しているが、他には怪我はない。マグヌスが持ってきた弾性包帯を鉢巻のように巻いて手当をする。そのまま下り、9:30馬場島着。

大江は上市警察の派出所に下山の報告。ゲートが開いていると思い、ゲートまで歩いて車を取りに行こうとしていたら、まだ開いていないとのこと。

駐車場に車座になってビールを飲んでいた5人組が、馬場島荘のおばちゃんに車で送ると言われ荷物をあわてて積み込んでいる。馬場島荘のおばちゃんが「あんたたちも乗るか」と嬉しい言葉。ビールを頼まなかったけれど良いの？

ゲートまで送ってもらい、車に荷物を積み込む。道の正面に剣岳がはっきり見える。



ゲートから望む剣岳



早月川の橋から望む剣岳

全員無事に下山してホッとすする。滑川におり、風呂に入って昼食は回転すしの店に入る。大江、近藤は10皿も食べたら十分だが、マグヌスは27皿をぺろりと平らげる。連休の最終日なので、上信越道は長野付近から一部渋滞が始まっている。関越道はもっと渋滞しているはずで、大宮まで行くとマグヌスが最終の新幹線にさえ乗れるかかどうかわからない。已むを得ず、妙義ICで下りて、高崎にゆきマグヌスを新幹線に乗せた。その後、ゆっくり17号線で大宮まで戻ったのが23:00。大江はそこから取手へ戻った。

以上の通り、報告します。

今後の参考のために、個人装備と団体装備も一覧を示します。



### 3. 個人装備

	品目	規格	数量	備考	
服装	ヤッケ(上)		1	アウターシェル(ゴアテックス)	
	オーバーズボン		1	アウターシェル(ゴアテックス)	
	防寒着(上、下)		1	厚手フリースなど	
	カッターシャツ		1	ダクロン、またはウール	
	ズボン		1		
	毛下着(上、下)		1		
	クライミンググローブ	ゴアテックス、インナー付き	1	インナーがあれば快適	
	毛手袋	含む予備、またはミトン	1		
	目出帽		1		
	毛靴下	予備含む	3	厚手	
	ロングスパッツ		1		
	オーバー手	ナイロン製	1	ナイロン100%	
	雨具(上下)		1	アウターが完全防水の場合は不要	
	冬用帽子		1	耳当て付き	
	絹スカーフ		1	またはネックウォーマー	
	靴と登攀具	登山靴		1	
		大型ザック	60L	1	
		アイゼン		1	12本爪
		アイゼンケース		1	
ピッケル			1	ストレートタイプ(50-75cm)	
ハーネス			1		
ロープスリング		6mm 60cm	2	ブルージック用	
テープスリング		120cmX2、240cmX1	1	ダイニーマ	
安全環付カラビナ		スクリュース式	2		
ビレー器(懸垂下降可能)		ATCガイド	1		
ゴーグル			1		
サングラス			1		
ビーコン			1		
生活用具		シュラフ		1	冬用
	シュラフカバー		1	ゴアテックス製	
	防寒シート		1	個人用	
	ポリタンク		1	~0.75L	
	テルモス		1		
	食器		1		
	スプーン、フォーク、箸		1		
	ヘッドランプ		1	LED	
	電池予備		1	個人用	
	マッチ/ライター		1		
	ロールペーパー		1	個人用、(またはティッシュ)	
	軍手		2		
	非常用	非常食	チョコレート、カロリーメイト等	1	3食分
	その他	下着		2	下山後の着替え含む
着替え(上下)			1	山への往復で使用	
タオル			1		
ティッシュ			1		
洗面用具			1	歯磨きブラシ、クリーム	
石鹸			1		
日焼け止めクリーム			1		
リップクリーム			0		
スキンクリーム			1		
持病薬			1		
裁縫具			1		
ナイフ		アーミーナイフ	1		
地図			1		
磁石			1		
ホイッスル			0		
筆記具			1		
記録用ノート			1		
現金			1		
時計			1		
携帯電話		1			

#### 4. 団体装備

	品目	規格	数量	備考	
登攀用具	登攀用ロープ	8.5mm 50m MAMMUT ジェネシスSD	2	ダブルロープ、複数の色	
	スノーバー	55cm	3	60cmのパワーロープ輪付ける	
	カラビナ	Black Diamond ポジトロンストレート	6	変形D型	
	アイスクリュー	19cm	2	Black Diamond	
	スリング用ロープ	6mmX120cm	3		
	スリング用テープ	12mmX60cm HW13	2	クロコダイルスリングダイニーマ	
		15mmX120cm HW32	2	クロコダイルスリングダイニーマ	
	捨て縄(テープ)	120cm	3		
	ユマール(登高器)	Petzl Ascension	1	右用1個、左用1個	
	アイスバイル	Petzl Charlet	1	ピッケル、バイルタイプ各1	
	露営具	冬用テント	4人用 エスペース Expedition Dome Nylon	1	
			同フライ	1	
			同内張り	1	
		スノースコップ	Black Diamond	2	
テント用銀マット		PAINE L	2		
雪用のこぎり			1		
ツエルト		3人用	1		
炊事		バーナー	EPI APSA3ストーブ	1	別置安定型
	燃料	EPI420EXS(寒冷地用)	2	4人/日(カートリッジ大0.5個)	
		EPI200EXS(寒冷地用)	2	行動用予備	
	バーナー台	薄いプラスチック板	1	バーナーの安定用	
	コッヘルセット	コッヘル(大)ECA165LL、4L+2.8L	1	大x1、小x1	
	ポリタン(小)	Platypus 2L	1	2リットル	
	ロールペーパー	キッチンペーパー	2		
	ごみ袋	中	3	防水、半透明、460X600X0.08mm	
	短波ラジオ		1		
	GPS		1		
	カメラ	デジタルコンパクト	1		
	温度計		1		
	登山計画書		1		
	薬品一式		1		

以上